

一年生がもうすぐ終わるといふ頃の私は、中学生に入って新しくできた友達と楽しかったクラスが離れてしまうことがとても悲しく寂しかったです。しかし、二年生でまた一緒になる子もいるかもしれないし、仲が良かった子と違うクラスになるとしても学校で会えるし、寂しさは感じていたけれど二年生が楽しみな気持ちもありました。そして二年生になり、新しいクラスは明るくて元気でとても楽しいクラスでした。二年生になって始めの頃は、あと何ヶ月後にはもうすぐ三年生だからこの前みたいに楽しみにしているのかな、でもだいたい先のことだから気にしなくていいかと思っていました。そんな二年生の時間は、あつというまで、また、二年生がもうすぐ終わる頃の私は、昨年と比べ、三年生になるのがとても嫌でした。もちろん、楽しすぎるクラスが終わってしまう悲しさや、勉強が難しくなることの心配、部活などで影響してくる中学最高学年としての不安などもあるけれど、何よりもそう感じる時の早さに驚きました。

三年生になったと思ったらすぐ高校生になってしまう、気がついたら大人になっているということが嫌だからです。時間はお金では買えないなどよく言いますが、本当にそうだなと最近強く思います。今までは、命と気持ち以外ならお金さえあればいいと思っていました。さらに、気持ちもお金があったら幸せだから、やはりお金さえあれば良いかなと正直思ったことがありました。しかし時間はお金では買えない大切なものだと、このような事を通して改めて感じました。もちろんお金と時間以外にも大切なものはたくさんありますが時間は特別です。後悔したことやあの時に戻りたいと思ったことは正直多くの人があると思います。例えば、大勢の人の前で失敗をした時、人生の選択を間違えたとき、今までで一番嬉しいことがあった時などはその時に戻ってまたやり直したい、もしくはあの時の気分をもう一度味わいたいなど思うはずですが、しかしタイムマシンのようなものがないかぎり、時間を戻すことはできません。私は小さい後悔をしたことは何回かありますが、大きい後悔をしたことは特にありません。小さい後悔は例えば、本気で欲しがっていた物などをかけて友達とジャンケンをして負けた時などです。後から違うのをいせれば良かったと思いましたが、それは運だし仕方がないことです。それに比べ、大きな後悔とは自分の人生にも関わってくる選択などです。

恵泉に入学して本当に初日くらいは友達ができず、みんなも静かで落ちこんだけど、数日後には全くそんなことがなく、友達もたくさんでき、クラスも楽しくて嬉しく感じたことを覚えています。自分が後悔したと思うような選択はしたくないので、自分にとって本当に楽しく、やりたいと思うことを見つけたいとも思いました。そして、もし後悔をする選択をしてしまったとしても、前を向けるように全力で楽しんだり考えたり今よりもっとポジティブにいこうと思いました。

最初に言ったように、中学三年生になって、次に高校生になって、さらに気がついたら大人になって、と何となく時間を過ごすのは本当にもったいないと思います。よく大人に「十代はすぐ終わってしまうから今のうちにたくさん楽しんだ方がいいよ。」と言われてますが、大人になって後悔する前に今のうちに楽しみたいです。中学校生活最後のこの一年もク

ラスでたくさん思い出を作って楽しみたいと思いました。そのためにも、しっかりと時間を意識していきたいと思います。